

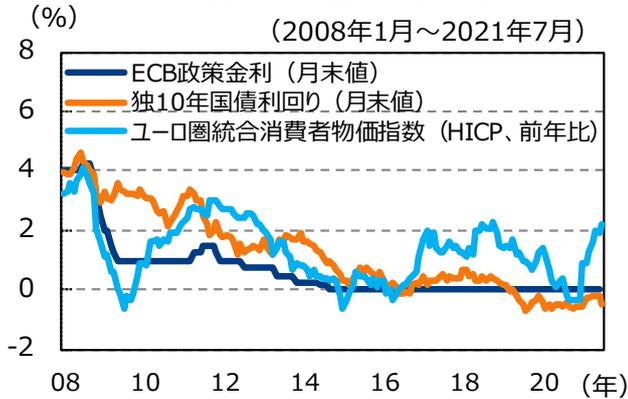
欧州マーケットビュー



- ユーロ圏の2021年4-6月期の実質GDP成長率は新型コロナウイルスの感染者数減少やワクチン接種の広がりを背景としたセンチメントの改善、行動規制の緩和などを受けて3期ぶりにプラスとなりました。景況感の改善が継続していることなどから、今後も回復基調が続くと予想されます。
- EU（欧州連合）では2021年も財政ルール適用（財政赤字のGDP比を3%以下にすることなど）の見送りが示唆され、当面は拡張的な財政運営が引き続き景気を下支えする見通しです。

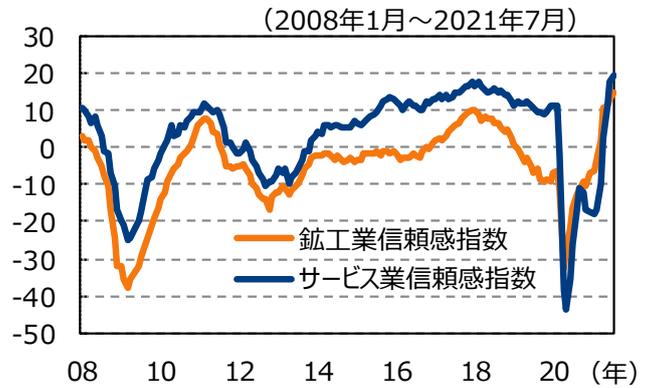
金利とインフレ率

ユーロ圏の2021年7月HICPは前年比2.2%と前月（1.9%）から若干上昇しましたが、**金融緩和の長期化を背景に低金利**が続いています。



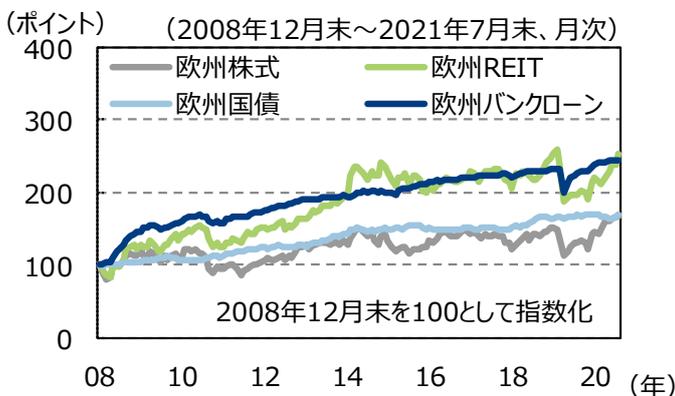
企業景況感

ユーロ圏の企業景況感は、**鉱工業、サービス業ともに上昇**しました。受注と在庫のバランスから見て、生産の回復が続くと予想されます。



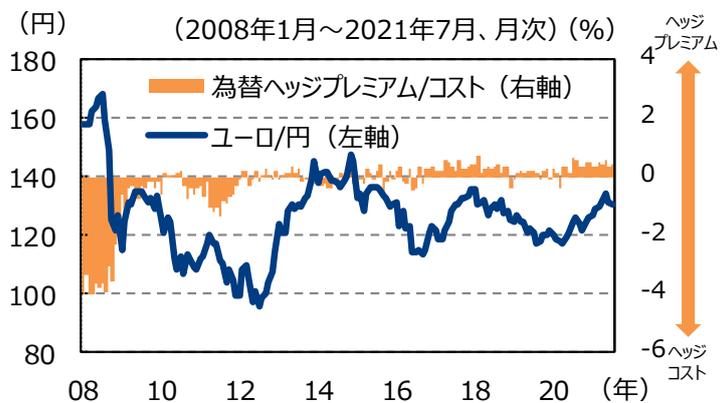
欧州各資産の推移

欧州の景気回復期待を背景に、**欧州各資産はリスク資産を中心に堅調に推移**しています。



ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、**ユーロ/円はヘッジプレミアム**が生じています。
(2021年7月：0.46%)



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヵ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもユーロベース）
 欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、
 欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。